



【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



先週のハンセン騰落ランキング

▼値上がり

	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 ハンセン銀行(00011)	143.80	0.56
2 キャセイ・パシフィック(00293)	13.12	0.00
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

▼値下がり

	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 CNOOC(00883)	7.94	-12.17
2 百麗国際(01880)	6.06	-12.05
3 招商局国際(00144)	23.45	-9.46
4 シンバック(00386)	4.41	-8.32
5 ペトロチャイナ(00857)	5.08	-8.30
6 中国神華能源(01088)	11.70	-8.02
7 華潤電力控股(00836)	14.18	-8.83
8 中国海外発展(00688)	25.75	-6.53
9 中国人寿保険(02628)	24.40	-6.51
10 中国平安保険(02318)	40.95	-6.51

▼今週の主なイベント

- 12月15日(火)
- 【米国】FOMC(16日まで)
- 12月17日(木)
- 【香港】失業率(9-11月)
- 12月18日(金)
- 【中国】全国70都市不動産価格(11月)

【主要株価指数】

※週間騰落率は過去5営業日の騰落率

	直近値	前日比	変化率 (%)	週間騰落 率(%)	年初来騰 落率(%)	14年末株価
NYダウ	17,265.21	-309.54	-1.76	-3.26	-3.13	17,823.07
NASDAQ	4,933.47	-111.71	-2.21	-4.06	4.17	4,736.05
日経225	19,230.48	183.93	0.97	-1.40	10.20	17,450.77
上海総合	3,434.58	-20.91	-0.61	-2.56	6.18	3,234.68
滬深300(CSI300)	3,608.06	-15.03	-0.41	-1.89	2.10	3,533.71
ハンセン	21,464.05	-240.56	-1.11	-3.47	-9.07	23,605.04
H株	9,308.00	-142.49	-1.51	-5.35	-22.33	11,984.69

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は3.5%安と反落、上海総合指数は2.6%安

ハンセン指数は1週間で3.5%安と大幅に反落。原油相場の下落に加え、中国のさえない貿易統計の発表やほぼ確実視されている米国の利上げ、人民元相場の下落による資本流出懸念など悪材料が重なった。ハンセン指数は11日まで7営業日続落し、2カ月半ぶり安値を付けた。上海総合指数も1週間で2.6%安と反落。景気の先行き懸念や資本流出懸念を受け、8日に上海総合指数が1週間ぶりに3500ポイント割れの水準まで下落。12日の主要経済指標の発表を前に週末にかけては買い手控えムードが広がった。

今週の展望:香港市場は値動き荒い展開に、15-16日開催のFOMCが焦点

香港市場は値動きの荒い展開が見込まれる。今週は15-16日に開かれるFOMCが最大の焦点。利上げはほぼ確実視されているが、イエレンFRB議長が記者会見で今後の利上げペースについてどのような発言をするかによって相場は左右されそうだ。一方、原油相場と人民元相場の下落でリスク回避姿勢が強まる中、12日に発表された中国の経済指標が市場予想を上回る強い内容だったことは明るい材料。本土市場は好悪材料の入り交じる中、一進一退の展開か。中央経済工作会議の動向次第で政策期待が高まる可能性も。

▼今週の期待材料

- ◆12日発表の中国の経済指標は市場予想を上回る強い内容、景気の先行き懸念後退へ
- ◆来年の経済運営の基本方針を決める中央経済工作会議が間もなく開催、動向次第で政策期待高まる公算
- ◆中国国有資産監督管理委員会が国有海運2社の統合を承認、再編進展で他セクターに思惑買いも

▼今週の懸念材料

- ◆原油相場や人民元相場の下落続く、海外投資家のリスク回避姿勢が強まれば波乱要因に
- ◆香港の中古住宅指標が米利上げを前に下落基調、利上げ決まればさらなる調整の可能性も
- ◆本土市場でIPO再開、第2陣の申し込みによる資金凍結額は3兆元前後に上る見通し

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ TCL マルチメディア (01070) : 動画配信の楽視が株式20%取得で2位株主に
- ☆ 宝信汽車 (01293) : 広匯汽車サービスが買収提案、最大で発行済み株式の75%取得へ
- ☆ 中国平安保険 (02318) : 1-11月の保険料収入は18%増、11月は15%増と堅調
- ◇ 中海発展 (01138) : 再編で油ガス輸送事業に集約へ、14日に取引再開
- ◇ コスコ・パシフィック (01199) : 再編で港湾運営事業に集約へ、14日に取引再開
- ◇ チャイナ・コスコ (01919) : 再編でコンテナ船事業に集約へ、14日に取引再開
- ◇ 中海コンテナ (02866) : 再編で海運金融サービス事業に集約へ、14日に取引再開
- ★ 復星国際 (00656) : 郭広昌会長が中国司法機関に調査協力、14日に取引再開
- ★ CNOOC (00883) 原油の大幅下落で打撃、WTI原油は6年10カ月ぶり安値
- ★ 中国粗糧王飲品 (00904) : 15年10月中間決算は赤字転落の見通し、18日に決算発表

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。